

## お話を読もう

年 組 名 前

◎ つぎの お話を読んで、答えましょう。

大きな でんでん虫の せなかに うまれたばかりの 小さなでんでん虫が のって いました。小さな 小さな すきとおるようなでんでん虫でした。

「ぼうや ぼうや。もう、あさだから、めを だしなさい。」と、大きな でんでん虫が よびました。

「あめは ふって いないの？」

「ふって いないよ。」

「かぜは ふいて いないの？」

「ふいて いないよ。」

「ほんとう？」

「ほんとうよ。」

「そんなら。」と、ほそい めを あたまの うえに そーっと だしました。

「ぼうやの あたまの ところに 大きな ものが あるでしょう？」と おかあさんがききました。

「うん、この めに しみる もの これ なあに。」

「みどりの はっぱよ。」

「はっぱ？ いきてんの。」

「そう、でも どうも しや しないから だいじょうぶ。」

「あ、かあちゃん、はっぱの さきに たまが ひかっている。」

「それは あさつゆって もの。きれいでしょ。」

「きれいだなあ、まんまるだなあ。」

「すると、あさつゆは、はの さきから ぴよいと はなれて ぷつんと じべたへ おちて しまいました。」

「かあちゃんの、あさつゆが にげてっっちゃった。」

「おっこちたのよ。」

「また はっぱの とこへ かえって くるの。」

「もう、きません。あさつゆは おっこちると こわれて しまうのよ。」

「ふーん、つまんないね、あ、しろい はっぱが とんで ゆく。」

「あれは はっぱじゃ ないこと、ちょうちょうよ。」

ちょうちょうは、きのはの あいだを くぐって そら たかく とんで いきました。ちょうちょうが みえなくなると、こどもの でんでん虫は、

「あれ、なあに。はっぱと はっぱの あいだに、とおく みえる もの。」とききました。

「そらよ。」と、かあさんの でんでん虫は こたえました。

「だれか、そらの なかに いるの？」

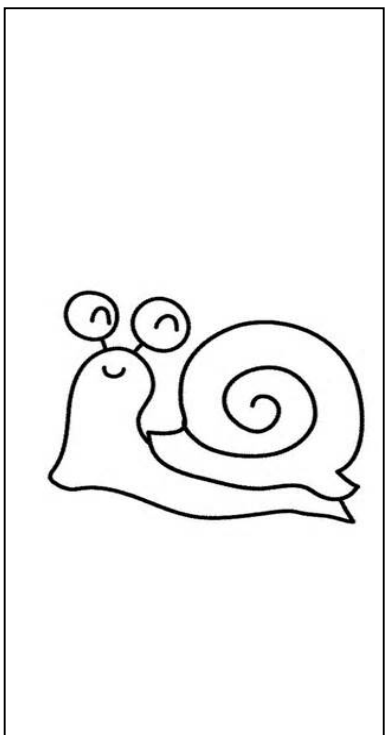
「さあ、それは かあさんも しりません。」

「そらの おこうに なにが あるの？」

「さあ、それも しりません。」

「ふーん。」小さい でんでん虫は、おかあさまでも、 わからない ふしぎな とおい そらを、ほそい めを 一ぱい のばして いつまでも みていました。

① 小さなでんでん虫がどこにいるかわかるように、□の中に小さなでんでん虫をかき入れましょう。



② まいこさんは、大きなでんでん虫と小さなでんでん虫のことを、次のようにせつめいしています。の中に入る言葉を書きましよう。

大きなでんでん虫と小さなでんでん虫は  です。  
なぜなら、小さなでんでん虫が、 と、大  
きなでんでん虫を よんでいるからです。また、大きなでん  
でん虫も、自分のことを  といっています。  
さいごに、 という ちがったよびかたをして  
いるのが おもしろいです。



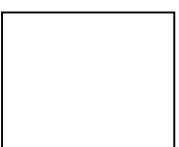
ア ( ) イ ( ) ウ ( ) エ ( )

③ 小さなでんでん虫がはじめて見たものは、どの組み合わせが正しいですか。

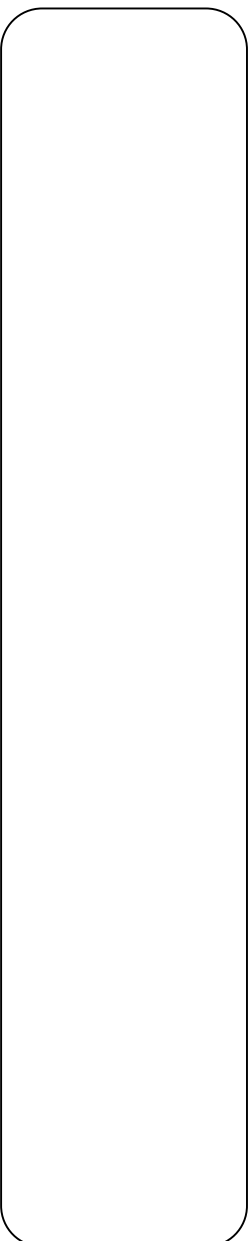
オ かぜ はっぱ ちょうちょう

カ あめ かぜ あさつゆ

キ はっぱ あさつゆ ちょうちょう



④ 「そらの おこうに なにが あるの。」という、小さなでんでん虫のしつ  
もんに、あなたならどう答えますか。小さなでんでん虫に教えてあげる  
ように書いてみましょう。



## お話を読もう(こたえ)

年 組 名 前

◎ つぎの お話を読んで、答えましょう。

大きな でんでん虫の せなかに うまれたばかりの 小さなでんでん虫が のって いました。小さな 小さな すきとおるような でんでん虫でした。

「ぼうや ぼうや。もう、あさだから、めを だしなさい。」と、大きな でんでん虫が よびました。

「あめは ふって いないの？」

「ふって いないよ。」

「かぜは ふいて いないの？」

「ふいて いないよ。」

「ほんとう？」

「ほんとうよ。」

「そんなら。」と、ほそい めを あたまの うえに そーっと だしました。

「ぼうやの あたまの ところに 大きな ものが あるでしょう？」と おかあさんがききました。

「うん、この めに しみる もの これ なあに。」

「みどりの はっぱよ。」

「はっぱ？ いきてんの。」

「そう、でも どうも しや しないから だいじょうぶ。」

「あ、かあちゃん、はっぱの さきに たまが ひかっている。」

「それは あさつゆって もの。きれいでしょ。」

「きれいだなあ、まんまるだなあ。」

「すると、あさつゆは、はの さきから ぴよいと はなれて ぷつんと じべたへ おちて しまいました。」

「かあちゃんの、あさつゆが にげてっっちゃった。」

「おっこちたのよ。」

「また はっぱの とこへ かえって くるの。」

「もう、きません。あさつゆは おっこちると こわれて しまうのよ。」

「ふーん、つまんないね、あ、しろい はっぱが とんで ゆく。」

「あれは はっぱじゃ ないこと、ちょうちょうよ。」

ちょうちょうは、きのはの あいだを くぐって そら たかく とんで いきました。ちょうちょうが みえなくなると、こどもの でんでん虫は、

「あれ、なあに。はっぱと はっぱの あいだに、とおく みえる もの。」とききました。

「そらよ。」と、かあさんの でんでん虫は こたえました。

「だれか、そらの なかに いるの？」

「さあ、それは かあさんも しりません。」

「そらの おこうに なにが あるの？」

「さあ、それも しりません。」

「ふーん。」小さい でんでん虫は、おかあさまでも、 わからない ふしぎな とおい そらを、ほそい めを 一ぱい のばして いつまでも みていました。

① 小さなでんでん虫がどこにいるかわかるように、□の中に小さなでんでん虫をかき入れましょう。

大きなでんでん虫の背中の上に、小さなでんでん虫がかけていれば、正答とする。



② まいこさんは、大きなでんでん虫と小さなでんでん虫のことを、次のようにせつめいしています。の中に入る言葉を書きましよう。

大きなでんでん虫と小さいでんでん虫は  です。  
なぜなら、小さなでんでん虫が、 と、大きなでんでん虫を よんでいるからです。また、大きなでんでん虫も、自分のことを「  」といっています。  
さいごに、 という ちがったよびかたをしているのが おもしろいです。



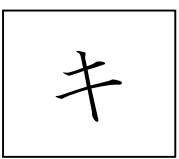
ア（親子または母と子）イ（かあちゃん）ウ（かあさん）エ（おかあさま）

③ 小さなでんでん虫がはじめて見たものは、どの組み合わせが正しいですか。

オ かぜ はっぱ ちょうちよう

カ あめ かぜ あさつゆ

キ はっぱ あさつゆ ちょうちよう



④ 「そらの むこうに なにが あるの。」という、小さなでんでん虫のしつもんに、あなたならどう答えますか。小さなでんでん虫に教えてあげる

ように書いてみましょう。

かいどうれい

解答例・そらのむこうには、白いくもがたくさんあるんだよ。

・うちゅうがあつて、星がたくさん光っているよ。

（空の向こうにあるものを、教えてあげるように書いていれば、せいどう正答）

## 「夕食づくり」

年 組 なまえ

◎ちよこさんが、買い物ものに行ったときのお話です。お話を読んで、もんだいにこたえましょう。

わたしは、買い物ものに行くのが 大すきです。今日は、お母さんとおばあさんと（ ① ）の四人で買い物ものに出かけました。

きょうの夕食は（ ア ）です。

いろいろなしなものがある、ちかくのスーパーマーケットに出かけることにしました。はじめに、おにくをうっているコーナーに行きました。お母さんは、

「ぶたにくを三百グラムください。」

と言いました。おにくのコーナーにいたおじさんが、

「すこしおまけしておくよ。」

と言って、はかったおにくをわたしてくれました。

つぎに、やさいうりばに行きました。

「今日は（ ア ）をつくるから、にんじんとじゃがいもと

（ イ ）をもってきて。」

と、お母さんが言いました。わたしはじゃがいもを、おばあさんは

（ イ ）を見つけてきました。いもうとのあつこは、にんじんをさがしていましたが見つかありません。わたしが、

「ここにあるよ。」

と言うと、

「おねえちゃん、わたしが見つけたかったのに。」

とすねてしまいました。

さいごにルーをさがしました。

「あまくちにしましょう。」

と、お母さんがいいました。わたしは、「ちゅうからのほうが、よかったのに。」と思いましたが、いもうとは、からいのがにが手なので「つぎにすきなあまくちでもいいな。」と思いました。

お母さんとおばあさんが、りょう理をはじめました。わたしも、お手つだいをしました。

「そのじゃがいもは、もうすこし小さく切ってね。」

「あ、はじめにおにくをいためるのよ。」

「やさいもいためたら、水を入れて、にこみましょう。」

「やさいがにえてきたら、ルーをとかして入れましょう。」

ちょうどできあがるころに、

「ただいま。ああ、おいしそうなおいだな。」

お父さんが帰ってきました。みんなそろったとき、ちょうど夕食の時間になりました。

「わたし、にんじんのかわをむいたよ。」

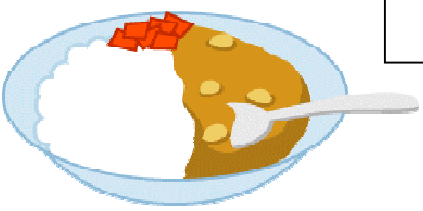
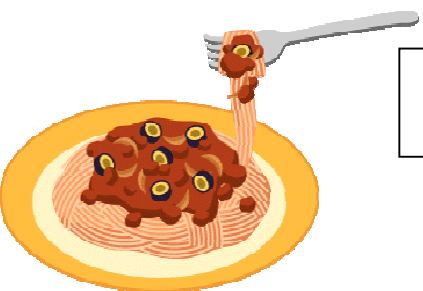
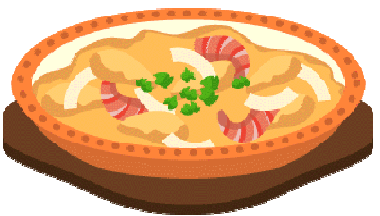


いもうとがじまんしたら、  
「すごいなあ、あっちゃん。」  
と、おとうさんが言ったあと、  
「ちよこも、たくさんお手つだいできたそうじゃないか。えらいぞ。」  
と言ってくれたので、「がんばって よかったな。」と思いました。

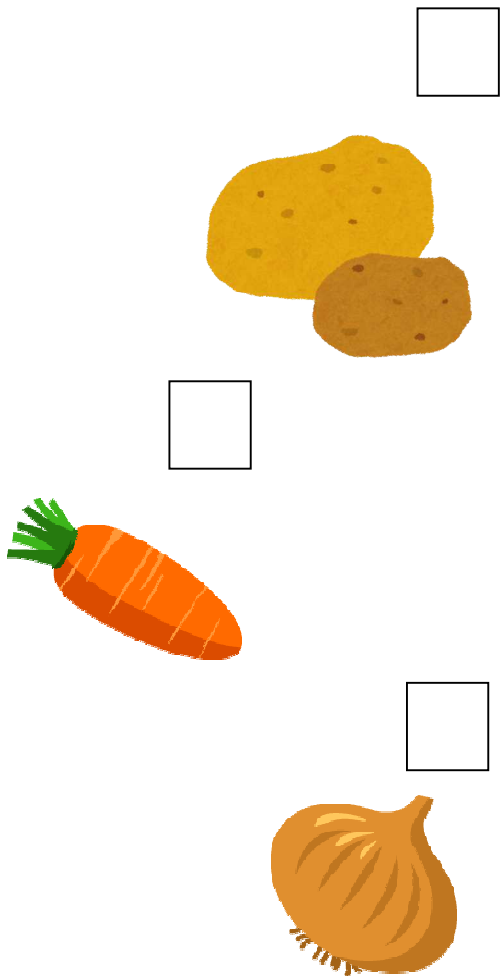
① 買い物に行った人のくみあわせをえらびましょう。

- ( ) わたし お父さん お母さん おねえさん  
( ) わたし おばあさん お母さん いもうと  
( ) わたし いもうと お母さん お父さん  
( ) お母さん おばあさん おにいさん いもうと

② 今日の夕食は、どの食べものでしょうか。一つえらんで、□に○を書きましょう。



③ (イ) にあてはまるざいりょうは、どれですか。一つえらんで、□に○を書きましよう。



④ 夕食のりょう理をつくるじゅんばんをかんがえて、□に1から4までのばんごうを書きましよう。

□	□	□	□
---	---	---	---

ルーをとかしながら入れる。

にくや、やさいをいためる。

水を入れて、ざいりょうをにる。

ちようどいい大きさに、やさいを切る。



⑤ ちよこさんたちは、かぞくみんなで夕食を食べました。何人で食べましたか。人数を□に書きましよう。

□
---

人

## 「夕食づくり」(二)たえ

年 組 なまえ

◎ちよこさんが、買い物ものに行ったときのお話です。お話を読んで、もんだいにこたえましょう。

わたしは、買い物ものに行くのが 大すきです。今日は、お母さんとおばあさんと( ) ① ( )の四人で買い物ものに出かけました。

きょうの夕食は( ) ア ( )です。

いろいろなしなものがある、ちかくのスーパーマーケットに出かけることにしました。はじめに、おにくをうっているコーナーに行きました。お母さんは、

「ぶたにくを三百グラムください。」

と言いました。おにくのコーナーにいたおじさんが、

「すこしおまけしておくよ。」

と言って、はかったおにくをわたしてくれました。

つぎに、やさいうりばに行きました。

「今日は( ) ア ( )をつくるから、にんじんとじゃがいもと

( ) イ ( )をもってきて。」

と、お母さんが言いました。わたしはじゃがいもを、おばあさんは

( ) イ ( )を見つけてきました。いもうどのあつこは、にんじんをさがしていましたが、見つかりません。わたしが、

「ここにあるよ。」

と言うと、

「おねえちゃん、わたしが見つけたかったのに。」

とすねてしまいました。

さいごにルーをさがしました。

「あまくちにしましょう。」

と、お母さんがいいました。わたしは、「ちゅうからのほうが、よかったのに。」と思いましたが、いもうとは、からいのがにが手なので「つぎにすきなあまくちでもいいな。」と思いました。

お母さんとおばあさんが、りょう理をはじめました。わたしも、お手つだいをしました。

「そのじゃがいもは、もうすこし小さく切ってね。」

「あ、はじめにおにくをいためるのよ。」

「やさいもいためたら、水を入れて、にこみましょう。」

「やさいがにえてきたら、ルーをとかして入れましょう。」

ちょうどできあがるころに、

「ただいま。ああ、おいしそうなおいだな。」

お父さんが帰ってきました。みんなそろったとき、ちょうど夕食の時間になりました。

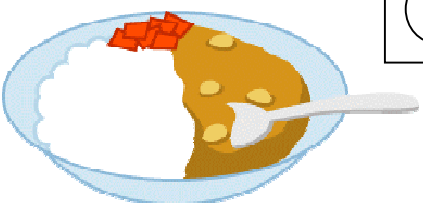
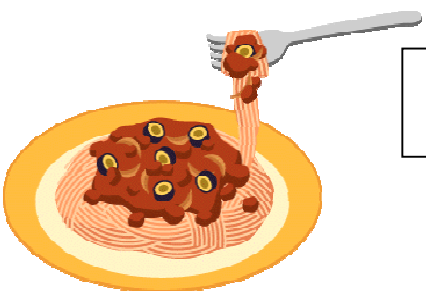
「わたし、にんじんのかわをむいたよ。」

いもうとがじまんしたら、  
「すごいなあ、あっちゃん。」  
と、おとうさんが言ったあと、  
「ちよこも、たくさんお手つだいできたそうじゃないか。えらいぞ。」  
と言ってくれたので、「がんばって よかったな。」と思いました。

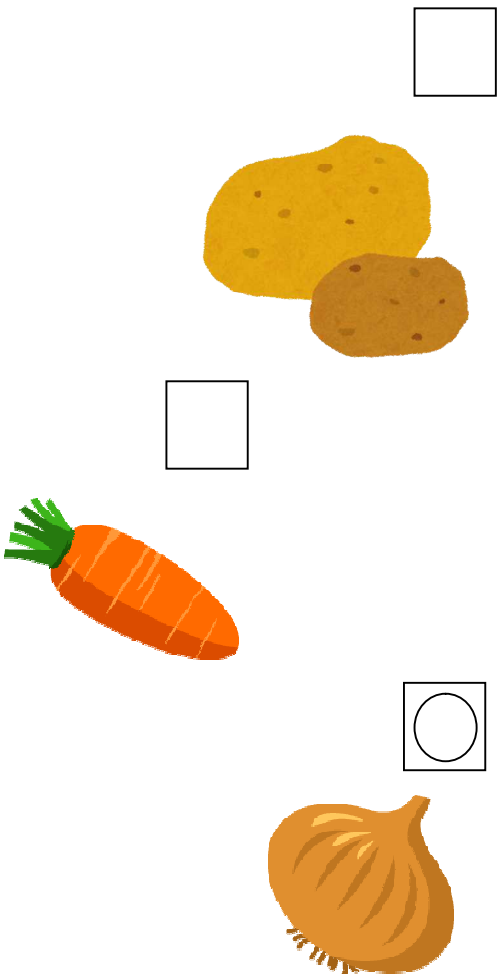
① 買い物に行った人のくみあわせをえらびましょう。

- ( ) わたし お父さん お母さん おねえさん  
(○) わたし おばあさん お母さん いもうと  
( ) わたし いもうと お母さん お父さん  
( ) お母さん おばあさん おにいさん いもうと

② 今日の夕食は、どの食べものでしょうか。一つえらんで、□に○を書きましよう。



③ (イ) にあてはまるざいりょうは、どれですか。一つえらんで、□に○を書きましょう。



④ 夕食のりょう理をつくるじゅんばんをかんがえて、□に1から4までのばんごうを書きましょう。

4 ルーをとかしながら入れる。

2 にくや、やさいをいためる。

3 水を入れて、ざいりょうをにる。

1 ちようどいい大きさに、やさいを切る。



⑤ ちよこさんたちは、かぞくみんなで夕食を食べました。何人で食べましたか。人数を□に書きましょう。

5  
人

## 「おいしいおかしのみみつ」

年 組 なまえ

◎文しょうをよんで、こたえましよう。

おかしがすきで、「おいしい。」と思う人は多いでしょう。おかしが、おいしいのは、「あまい」または、「しょっぱい」あじが、心をわくわくさせてくれて、食べたい気持ちにさせてくれるからです。おかしを考えたらたちは、みなさんにおいしく食べてもらえるように、おかしをつくりかたを、いろいろとくふうしてきました。

口の中でふわっととけるのは、アイスクリームです。おいしいアイスクリームが、口に入れたとたんにとけてしまうのは、なぜでしょうか。アイスクリームをつくるときには、ざいりょうをよくひやしながらかくさんかきませます。そのとき、こまかい空気にあわがたくさん入ります。口の中でふわっととけるのは、この空気にあわのおかげなのです。

あまいマシュマロがふわふわしているのも、空気のおかげです。  
マシュマロのざいりょうは、さとう、水あめ、※1ゼラチン、たまごの白みなどです。このざいりょうを、空気がたっぷり入るようにまぜると、軽くかるてふわふわした感じになります。

かりかり・さくさくと、おいしいせんべい。せんべいをやいているときに、※2生地がすこしくらむのは、なぜでしょうか。

せんべいは、お米からできています。まずはじめに、たいたお米を

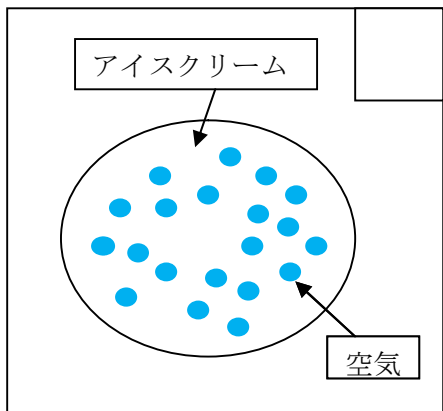
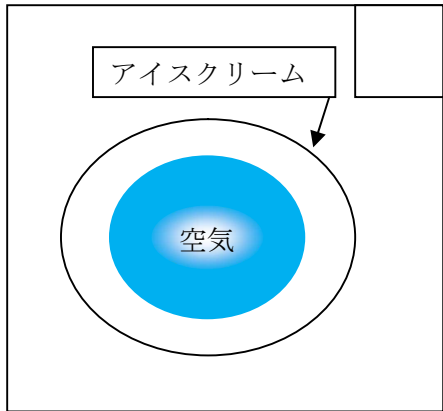
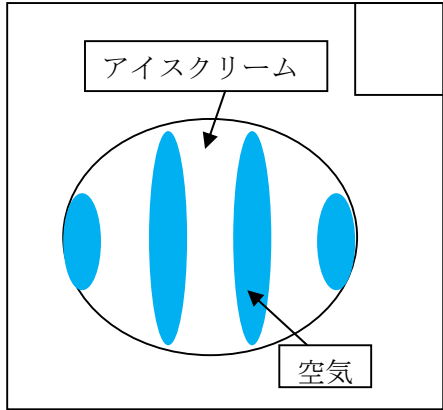
もちにします。つぎに、もちをせんべいの形にします。せんべいの形にした生地きじをかわかします。そのときに、かわくようすを何どもたしかめます。かわかしすぎると、生地がわれてしまうからです。

生地がちょうどよくかわいたら、いよいよせんべいをやきます。やいているときに、せんべいの中にすこしだけのこった水があたためられて、生地の外に出ようとしています。そのときに、せんべいがふくらむのです。今でもいろいろなおかしが、つくられています。おかしのしゅるいはちがっても、どのおかしも、ざいりょうのよさとつくる人のくふうによって、おいしくつくられているのです。

※1 ゼラチン：ゼリーなおかしをつくるざいりょう

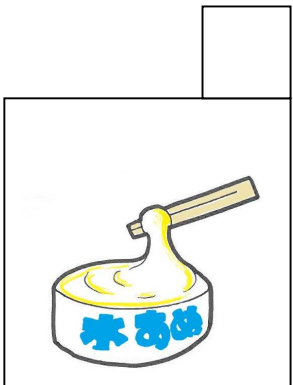
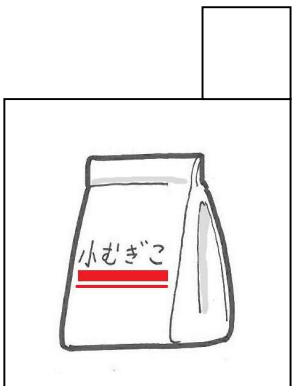
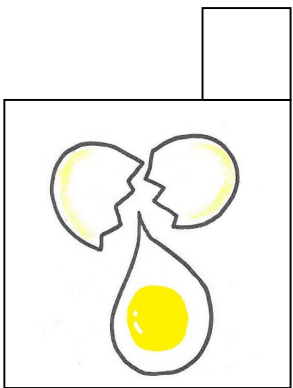
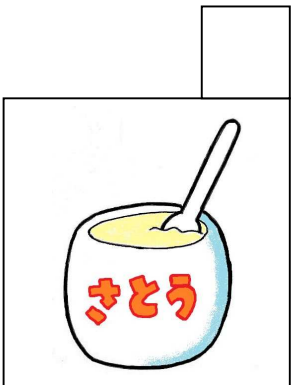
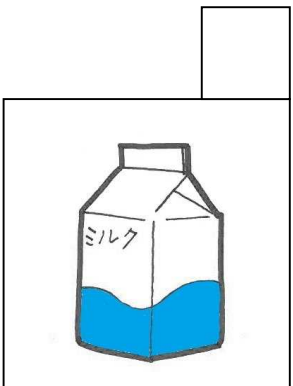
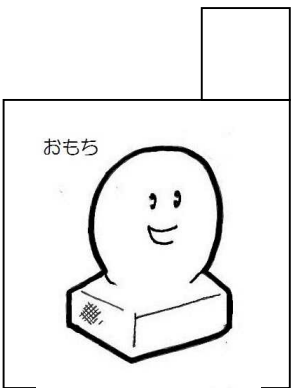
※2 生地きじ：ざいりょうをまぜ、ねってつくった、おかしのもと。

① アイスクリームが、口の中でふわっとけるわけがせつめいできる絵はどれでしょうか。一つえらんで□に○を書きましよう。





② マッシュマロをつくるにつかうものを、3つえらんで、□に○を書きましよう。

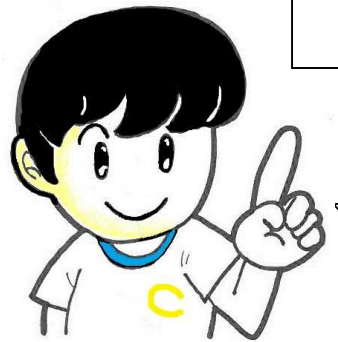


③ 3人がせんべいの作り方を話しています。まちがっている人はだれでしょうか。□に○を書きましよう。

水がぜんぶなくなるまで、生地をかかわすことがだいじだよ。

お米をたいてから、おもちにするのね。

おもちにしてからせんべいの形をつくるんだね。



## 「おいしいおかしのひみつ」(こたえ)

年 組 なまえ

◎文しょうをよんで、こたえましょう。

おかしがすきで、「おいしい。」と思う人は多いでしょう。おかしが、おいしいのは、「あまい」または、「しょっぱい」あじが、心をわくわくさせてくれて、食べたい気持ちにさせてくれるからです。おかしを考えたらたちは、みなさんにおいしく食べてもらえるように、おかしのつくりかたを、いろいろとくふうしてきました。

口の中でふわっととけるのは、アイスクリームです。おいしいアイスクリームが、口に入れたとたんにとけてしまうのは、なぜでしょうか。アイスクリームをつくるときには、ざいりょうをよくひやしながらか、たくさんかきまぜます。そのとき、こまかい空気にあわがたくさん入ります。口の中でふわっととけるのは、この空気にあわのおかげなのです。

あまいマシュマロがふわふわしているのも、空気のおかげです。  
マシュマロのざいりょうは、さとう、水あめ、※1ゼラチン、たまごの白みなどです。このざいりょうを、空気がたっぷり入るようになぜると、かる軽くふわふわした感じになります。

かりかり・さくさくと、おいしいせんべい。せんべいをやいているときに、※2生地がすこしくらむのは、なぜでしょうか。

せんべいは、お米からできています。まずはじめに、たいたお米を

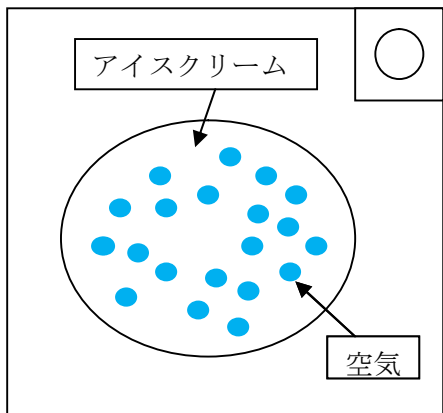
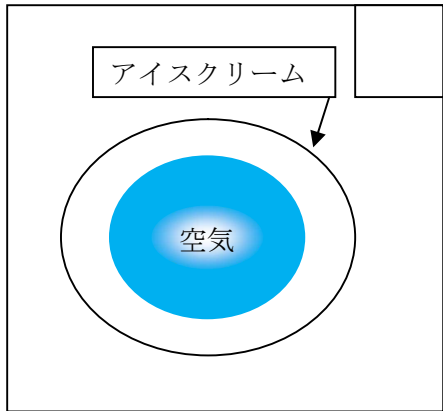
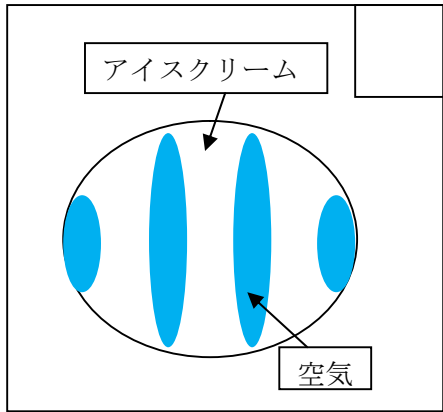
もちにします。つぎに、もちをせんべいの形にします。せんべいの形にした生地きじをかわかします。そのときに、かわくようすを何どもたしかめます。かわかしすぎると、生地がわれてしまうからです。

生地がちょうどよくかわいたら、いよいよせんべいをやきます。やいているときに、せんべいの中にすこしだけのこった水があたためられて、生地の外に出ようとしています。そのときに、せんべいがふくらむのです。今でもいろいろなおかしが、つくられています。おかしのしゅるいはちがっても、どのおかしも、ざいりょうのよさとつくる人のくふうによって、おいしくつくられています。

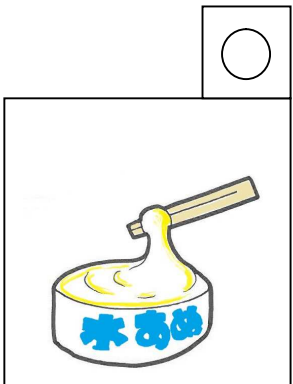
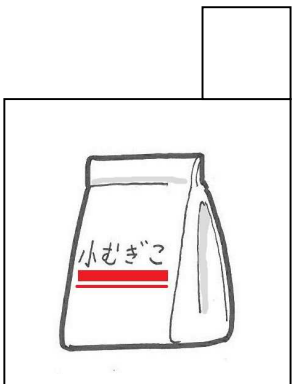
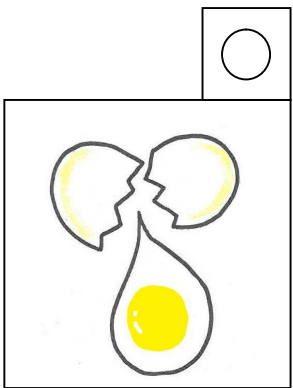
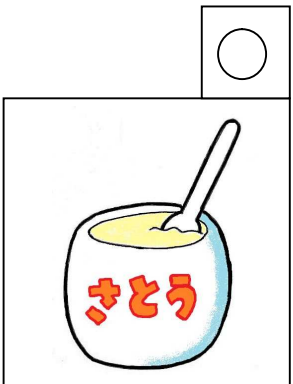
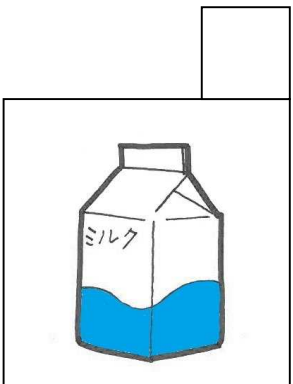
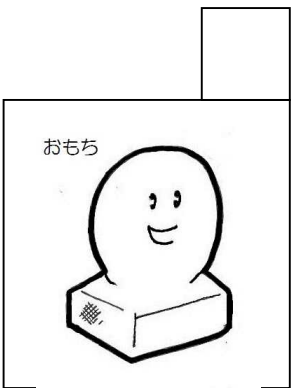
※1 ゼラチン：ゼリーなどのおかしをつくるざいりょう

※2 生地きじ：ざいりょうをまぜ、ねってつくった、おかしのもと。

① アイスクリームが、口の中でふわっとけるわけがせつめいできる絵はどれでしょうか。一つえらんで□に○を書きましよう。



② マッシュマロをつくるにつかうものを、3つえらんで、□に○を書きましよう。

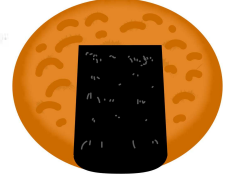


③ 3人がせんべいの作り方を話しています。まちがっている人はだれでしょうか。□に○を書きましよう。

水がぜんぶなくなるまで、生地をかかわすことがだいじだよ。

お米をたいてから、おもちにするのね。

おもちにしてからせんべいの形をつくるんだね。



# 「Eのむじゅんは…」

年 組 なまえ

◎ものがたりを読んでこたえましょう。

○「あの山のおこうには、何なにがあるの。」

□「うーん、行いったことないからわからないなあ。」

△「ぼく、知しっているよ。」

○「え！きつねくん、知ってるの？」

△「うん、いちど行いったことがあるんだ。あの山は『  
ア 山』  
って言ってね。」

□「山の上がとんがっているから、そういう名前まえなんだね。」

△「うん。くまくん、その通りだよ。」

□「やっぱり。そう思ったんだ。」

○「それで、あの山のおこうには、何があるの。」

△「うさぎさん、そんなにあせらないで。」

□「そうだよ、うさぎさん。」

△「うん、あの山のおこうには、大きな『  
イ 』があるんだよ。」

○「大きな『  
イ 』って。」

△「とっても広くて、あそべるところがたくさんあって、いろいろな  
のりものがあるところだよ。」

□「すごいね。ぼく、すべり台だいがすきなんだ。」

△「ぼくがすきな、とってもながいすべり台もあるよ。」

○「すてき！すべり台があるなんて。ねえ、ジェットコースターもある？」

△「ちゅうがえりするジェットコースターがあるよ。ぼくは、にが手だけれども…。」

□「ぼくも。ジェットコースターって、こわいよね。」

○「わたしは、のってみたい。どきどきするのりものが大すきななの。」

△「ほかにも、ドーナツの形かたちの池いけがあるよ。」

□「ドーナツの池？」

△「うん。ぼく、およぐのがとくいだから、よくあそぶんだ。」

○「わたしは、にが手。およげないの。」

□「ぼくは、およげるよ。五メートルくらい。」

△「それから、かんらん車もあるんだ。」

□「それは、のれないな。ぼくは、たかいところがにが手なんだ。」

○「わたしはすき。かんらん車、のりたいなあ。」

△「ぼくも、たかいところから遠とおくのけしきを見るのがすきだから、お気に入りのひとつだよ。」

○「わたしは、おばけやしきがあったら、いききたいな。」

△「だめだめ！あるけど、こわいから。だめ。」

□「ぼくも、入りたくない。」

△「それじゃあ、三人いっしょには、あそべないなあ。」

① △ □ ○ は、それぞれ だれが はな 話したことでしょうか。

○	□	△



② 『(ア) 山』は、あなたならどんな名前をつけますか。

また、その名前をつけたわけも書きましょう。

『

山』



わけ

③ 山のおこうには、何なにがあると思いますか。『イ』の中にお話にあうことを書きましょう。

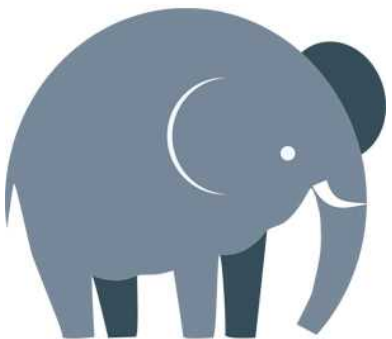
大きな『 』



④きつねさん・くまさん・うさぎさんがすきなりのりものやあそびは何  
でしょう。ひょうの中の、あてはまるものすべてに○を書きましょう。

	きつね	くま	うさぎ
(れい) ドーナツ池	 ○	 ○	
おばけやしき			
ジェット コースター			
かんらん車			

⑤お話のばしよで、みんないっしょにたのしくあそべるところは、  
どこですか。一つえらんで、書きましょう。





# 「おむじゅんは…」(「たえのせい」)

年 組 なまえ

◎ものがたりを読んでこたえましょう。

○「あの山のおむじゅんには、何なにがあるの。」

□「うーん、行いったことないからわからないなあ。」

△「ぼく、知しっているよ。」

○「え！きつねくん、知しってるの？」

△「うん、いちど行いったことがあるんだ。あの山は『  
ア 山』  
って言ってね。」

□「山の上がとんがっているから、そういう名まえ前まえなんだね。」

△「うん。くまくん、その通りだよ。」

□「やっぱり。そう思ったんだ。」

○「それで、あの山のおむじゅんには、何なにがあるの。」

△「うさぎさん、そんなにあせらないで。」

□「そうだよ、うさぎさん。」

△「うん、あの山のおむじゅんには、大おほいきな『  
イ 山』があるんだよ。」

○「大おほいきな『  
イ 山』って。」

△「とっても広くて、あそべるところがたくさんあって、いろいろな  
のりものがあるところだよ。」

□「すごいね。ぼく、すべり台だいがすきなんだ。」

△「ぼくがすきな、とってもながいすべり台もあるよ。」

○「すてき！すべり台があるなんて。ねえ、ジェットコースターもある？」

△「ちゅうがえりするジェットコースターがあるよ。ぼくは、にが手だけれども…。」

□「ぼくも。ジェットコースターって、こわいよね。」

○「わたしは、のってみたい。どきどきするのりものが大すきななの。」

△「ほかにも、ドーナツの形かたちの池いけがあるよ。」

□「ドーナツの池？」

△「うん。ぼく、およぐのがとくいだから、よくあそぶんだ。」

○「わたしは、にが手。およげないの。」

□「ぼくは、およげるよ。五メートルくらい。」

△「それから、かんらん車もあるんだ。」

□「それは、のれないな。ぼくは、たかいところがにが手なんだ。」

○「わたしはすき。かんらん車、のりたいなあ。」

△「ぼくも、たかいところから遠とおくのけしきを見るのがすきだから、お気に入りのひとつだよ。」

○「わたしは、おばけやしきがあったら、いききたいな。」

△「だめだめ！あるけど、こわいから。だめ。」

□「ぼくも、入りたくない。」

△「それじゃあ、三人いっしょには、あそべないなあ。」

① △ □ ○ は、それぞれ だれが はな 話したことでしょうか。

○	□	△
う さ ぎ	く ま	き つ ね



② 『(ア) 山』は、あなたならどんな名前をつけますか。

また、その名前をつけたわけも書きましょう。

## 『(例) とんがり 山』

わけ※ (先生方へ) 「わけ」に合う答えであれば、正解とする。

山がとんがっているから。

③ 山のおこうには、何がある<sup>なに</sup>と思いますか。『イ』の中にお話にあうことを書きましょう。

## 大きな『ゆうえんち』

※ (先生方へ) 「公園」「テーマパーク」など文章にあるような乗り物等があると想定される場所が書かれていれば、正解とする。

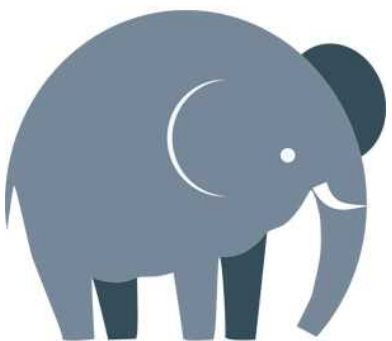


④きつねさん・くまさん・うさぎさんがすきなりのりものやあそびは何  
でしょう。ひょうの中の、あてはまるものすべてに○を書きましょう。

	きつね	くま	うさぎ
(れい) ドーナツ池	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
おばけやしき			<input type="radio"/>
ジェット コースター			<input type="radio"/>
かんらん車	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

⑤お話のばしよで、みんないっしょにたのしくあそべるところは、  
どこですか。一つえらんで、書きましょう。

## すべり台



# 「本を<sup>よ</sup>読んで手紙を<sup>がみ</sup>書こう」

年 組      なまえ

◎本を読んだ三人の子どもが<sup>はなし</sup>話をしていきます。文とふき出しの中の  
ことばを読んで、もんだいにこたえましょう。



「あぶない！」

がおくんは、しつぽで

あららさんのことを

はたきました。

「いたあい！」

あららさんが、おこりました。

すると、とつぜん。

あららさんをつかまえようと、

なにかがとびおりました。

それは大きなふくろうでした。

「もうすこしで    ぼく、

たべられるところだったよ。」

あららさんが、がおくんにお

れいをいいました。

あららさんが、  
はじめに  
このおはなしに  
出てきたよ。



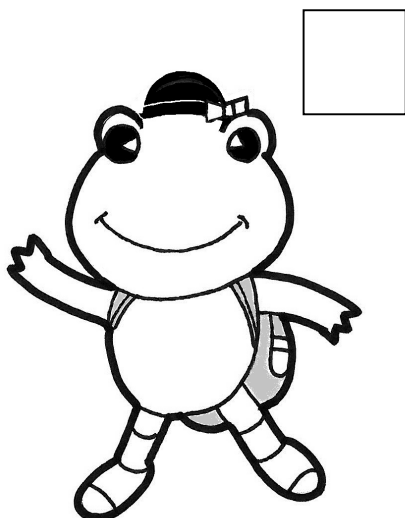
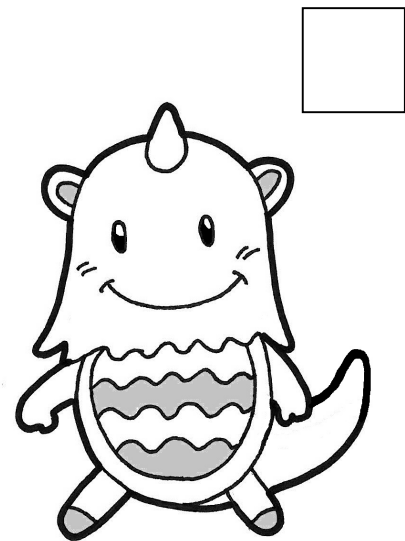
ふくろうの  
まえに、  
がおくんが  
おはなしに  
出てきたね。



これから、  
ねこが出てくる  
んだよね。



① 2つの絵は「がおくん」と「あららさん」です。どちらが「がおくん」で  
しょうか。また、そうおもったわけを書きましよう。



「がおくん」には

から。

② この本をよんだ三人の話から、お話にとうじょうしたじゅんに  
ばんごうを書きましよう。

がおくん

あららさん

ねこ

ふくろう

③ あららさんが、がおくんにおれいをいったのはなぜですか。

④このお話を讀んだ山下はなこさんは、お話を書いた人へ手紙を書くことにしました。手紙を書くためのカードをつくっていたとき、うっかりして、カードをばらばらにしていまいました。手紙を書くときのじゅんばんになるように、□にばんごうを入れましょう。

わたしは、そうせ小学校の山下はなこです。

先生が書いたお話、「A

大ピンチ」

を讀みました。とてもすてきなお話だったので、先生に  
お手紙を書くことにしました。

これから、もつとお話が讀みたいので、先生のことを  
ずつとおうえんします。これからもがんばってください。

ちばれんじ先生、はじめまして。

がおくんが、しっぽであらさんをはたいたところは、  
ほんとうにびっくりしました。讀んでみると、がおくん  
があらさんのことをまもろうとしてしたことがわかつ  
て、とってもうれしい気もちになりました。

⑤3つの□がならんでいるところ（A）には、「だいいい」のことが入ります。3文字のことは入れましょう。

「本を<sup>よ</sup>読んで手紙を<sup>がみ</sup>書こう」(こたえのれい)

年 組      なまえ

◎本を読んだ三人の子どもが<sup>はなし</sup>話をしていきます。文とふき出しの中の  
ことばを読んで、もんだいにこたえましょう。



「あぶない！」

がおくんは、しつぽで

あららさんのことを

はたきました。

「いたあい！」

あららさんが、おこりました。

すると、とつぜん。

あららさんをつかまえようと、

なにかがとびおりました。

それは大きなふくろうでした。

「もうすこしで ぼく、

たべられるところだったよ。」

あららさんが、がおくんにお

れいをいいました。

あららさんが、  
はじめに  
このおはなしに  
出てきたよ。



ふくろうの  
まえに、  
がおくんが  
おはなしに  
出てきたね。

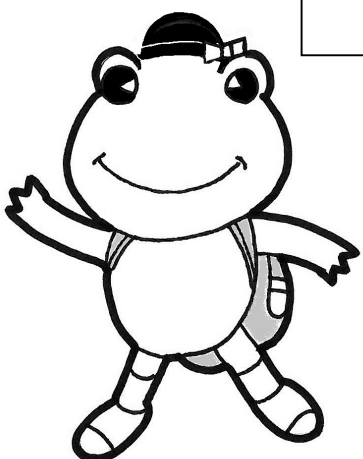
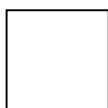
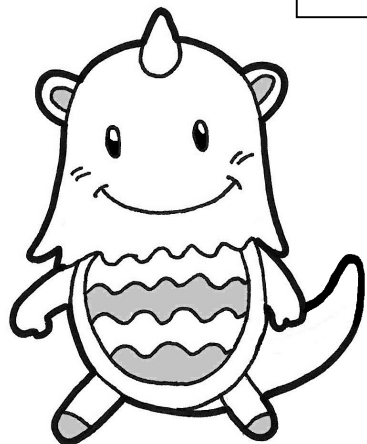
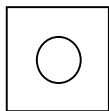


これから、  
ねこが出てくる  
んだよね。





① 2つの絵は「がおくん」と「あららさん」です。どちらが「がおくん」でしょうか。また、そうおもったわけを書きましよう。



「がおくん」には

しっぽがある

から。

② この本をよんだ三人の話から、お話にとうじょうしたじゅんにばんごうを書きましよう。

2

がおくん

1

あららさん

4

ねこ

3

ふくろう

③ あららさんが、がおくんにおれいをいったのはなぜですか。

(れい) ふくろうに食べられそうになったのを、たすけてくれたから。

④このお話を讀んだ山下はなこさんは、お話を書いた人へ手紙を書くことにしました。手紙を書くためのカードをつくっていたとき、うっかりして、カードをばらばらにしてしまいました。手紙を書くときのじゅんばんになるように、□にばんごうを入れましょう。

2 わたしは、そうせ小学校の山下はなこです。

先生が書いたお話、「A あ ら ら 大ピンチ」  
を讀みました。とてもすてきなお話だったので、先生に  
お手紙を書くことにしました。

4 これから、もつとお話が讀みたいので、先生のことを  
ずつとおうえんします。これからもがんばってください。

1 ちばれんじ先生、はじめまして。

3 がおくんが、しっぽであらさんをはたいたところは、  
ほんとうにびっくりしました。讀んでみると、がおくんが  
あらさんのことをまもろうとしてしたことがわかって、  
とつてもうれしい気もちになりました。

⑤3つの□がならんでいるところ(A)には、「だいいい」のことが入ります。3文字のことは入れましょう。